

被爆70周年

広島市被爆70周年記念事業



秋山和慶のデイスカバリー・シリーズ

# 音楽の街を訪ねて

第十二回 広島

最終章は広島。  
世界にとつて忘れてはならない街の名を  
音楽で語りかけます。  
広島出身の糺場が広島への未来への希望を。  
そして広響初公演をはじめ、  
節目で熱演を繰り広げてきた「運命」に、  
人の叡智を信じる想いを託しておおくりします。

## ♪ プログラム

糺場富美子／撰氏4000度からの未来「広島市・広響委嘱作品世界初演」  
ベートーヴェン／交響曲第5番ハ短調Op.67「運命」



指揮 秋山和慶  
Kazuyoshi Akiyama



作曲・プレトーク 糺場富美子  
Tomiko Kohjiba

戦国時代、中国地方の大半を治めていた毛利氏により広島城が築かれ、以来城下町として、また中国地方の中心地として発展を続けてきた広島。日清戦争勃発時には、戦争指揮のための拠点が広島城内に設置されるなど、一時的に首都の機能まで担います。そして1945年8月6日、広島の名は世界中の人々の記憶に刻まれることに。当時一面焦土と化したこの街は、今、世界の平和文化都市として見事に甦っています。

2015年3月27日「金」  
アステールプラザ大ホール  
18時45分開演  
17時45分開場

S席／5,200円 A席／4,200円 B席／3,200円 学生券／1,000円 (学生券は広響事務局のみの取り扱い)  
チケット取り扱い／エディオン広島本店・福屋八丁堀本店・福屋広島駅前店・アルパーク天満屋・アステールプラザ情報交流ラウンジ  
チケットぴあ(コード219744)・ローソンチケット(コード69296)・広島アーツ楽器・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所取り扱い・広響事務局で販売  
お問い合わせ／広響事務局 TEL.082-532-3080 E-mail:info@hirokyo.or.jp URL:http://hirokyo.or.jp

※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

協賛／中国電力・広島銀行・広島電鉄・マツダ  
主催／広島市・(公社)広島交響楽協会・中国新聞社  
共催／(公財)広島市文化財団 後援／広島市教育委員会  
助成／文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)  
公益財団法人朝日新聞文化財団



■ 厳島神社「大鳥居」



■ 世界平和記念聖堂



■ 市内を走る「広響電車」



■ キョウチクトウ



■ 原爆ドーム



広島交響楽団 秋山和慶のディスカバリー・シリーズ

# 「音楽の街を訪ねて」

私たちの広島くそこに生きる人々に

## 指揮／秋山 和慶

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース交響楽団音楽監督（現在名誉指揮者）を歴任。サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロスアンゼルス・フィル、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、ロイヤル・フィル、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

1998年に広島交響楽団首席指揮者・ミュージックアドバイザーとなり、2004年には音楽監督・常任指揮者に就任。定期演奏会やディスカバリー・シリーズ、2度の海外公演（ロシア、韓国）などで広響の能力を飛躍的に伸ばし、各方面から高い評価を受けている。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞、広島市民賞、中国文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モビル音楽賞を受賞のほか、紫綬褒章、旭日小綬章なども受章。2014年度文化功労者に選出された。

現在、広島交響楽団音楽監督／常任指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストティック・ディレクター／プリンシパル・コンダクターを務めている。

## 作曲・プレトック／糀場 富美子

広島市生まれ。東京芸術大学作曲科卒業、同大学院修了。

故バーンスタイン氏の推薦で、大植英次指揮により初演された「広島レクイエム」は、小澤征爾指揮、ボストン交響楽団の定期演奏会のプログラムにも取り上げられ、その後広島交響楽団をはじめ多くの楽団で現在も世界各国で演奏されている。

また、米国サンタフェ室内楽音楽祭にレジデンス・コンポーザーとして招待される等、国内外で活動の場を広げている。オーケストラ、室内楽、合唱曲など、委嘱多数。

近作に、「未風化の7つの横顔」(pt.&Orch.) (07年第16回芥川作曲賞、別宮賞受賞)「月を食う空の獅子」(Trb.&Orch.) (08年サントリー音楽財団委嘱)「ドゥイノの城」(Vc.) (08年全音楽譜出版委嘱)「百舌鳥耳原に寄せる三つの墓碑銘」(Orch.) (11年大阪交響楽団委嘱)「地上の祭」(Chor.) (13年カノラホール委嘱)等がある。

2011年3月11日に起こった東日本大震災以降、「海」を題材に、一連の作品「わだつみ」(Vc. & Pf.) (13年ミュージック・フロム・ジャパン委嘱)、「底魚たちの悲しみ」(Chor. & Hp.) (13年日本作編曲家協会委嘱)、「わだつみの波」(Orch.) (13年オーケストラ・プロジェクト)「ねむりの海へ」(vib.) (14年會田瑞樹委嘱)、「わだつみの歌」(弦楽四重奏)を作曲している。

作品は全音楽譜出版社、音楽之友社、カワイ出版から出版されている。

現在、東京音楽大学教授、東京芸術大学非常勤講師、日本現代音楽協会理事、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ指導者協会評議員、他。



■ 厳島神社「本殿」

日本三景の一つとして知られる景勝地、厳島（宮島）は、古代より島そのものが御神体だった神聖な地。中でも厳島神社は、平安時代末期に平清盛が厚く庇護したことで大きく発展し、後に後白河法皇や豊臣秀吉も参拝したと言われます。1996年には世界文化遺産にも登録され、四季折々の祭典行事では、奈良時代に大陸から伝わり、現在は日本のみに残る雅楽が奉納される他、春の桃花祭では能楽奉納が、また夏には平清盛が始めたとされる管絃祭が行われるなど、日本の伝統芸能も楽しめます。



■ 原爆ドーム

広島のもう一つの世界文化遺産、原爆ドームは、この街に原爆が投下された悲劇を今に伝える大切な記念碑。同じ公園内には原爆死没者慰霊碑や平和記念資料館もあり、巡っていると、現在の平和は多くの悲しみの上に成り立っていることに気づかされます。「Music for Peace」をモットーとする広島交響楽団は、世界でも希有な歴史を持つこの街に誕生しました。シンボルマークである、平和発信の音符をくわえた平和の使者、ハトのように、これからも平和のメッセージを奏でていくことでしょう。



(文) 堀内みさ  
(写真) 広島交響楽団